

お知らせ

平成23年8月4日

泊発電所周辺地域における放射性物質の検出について (大気中浮遊じん、降下物、農畜産物(いちご)及び海産物(ほたて))

北海道及び北海道電力㈱においては、「泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」に基づき泊発電所周辺地域の環境放射線監視を実施しており、大気中浮遊じん(6月採取分)、降下物(6月採取分)及びいちごから放射性セシウム(セシウム134、セシウム137)が、また、ほたてから放射性銀(銀110m)が別表のとおり検出されましたので、お知らせします。

今回の検出について、国(泊原子力保安検査官事務所)においては、泊発電所については日々の保安調査(泊発電所内の巡視点検や運転パラメータの確認など)により正常に運転されていることを確認していることから、泊発電所に起因するものではないと判断しております。

なお、検出された濃度は微量であり、環境や健康への影響はありません。

- 今回検出された大気中浮遊じんの最大の放射性セシウム濃度(セシウム134とセシウム137の和の最大値)の空気を1年間吸入した場合に受ける放射線量を、呼吸により1年間に受ける自然放射線量(世界平均で1.26ミリシーベルト)と比較すると、約48,000分の1以下の値となっております。
- 今回検出された最大の放射性セシウム濃度の降下物が地表に沈着したとして、そこから受ける1時間当たりの放射線量を泊発電所周辺で通常測定されている空間放射線量(約30～50ナノシーベルト^{*1}^{*2}/時)と比較すると、約2,400分の1以下の値となっております。
※1 ナノ:10億分の1を表す。 ※2 1グレイ=1シーベルトと換算して計算。
- いちごから検出された最大の放射性セシウム濃度を食品衛生法に基づく暫定規制値(野菜類:500Bq/kg)と比較すると、約2,200分の1以下の値となっております。
- 今回検出された放射性銀濃度のほたてを1年間摂取することにより受ける放射線量を、食物を摂取することにより1年間に受ける自然放射線量(世界平均で0.29ミリシーベルト)と比較すると、約42,000分の1以下の値となっております。
※ 放射性銀については、食品衛生法に基づく暫定規制値は設定されていません。

本件のお問い合わせ先

原子力安全対策課環境安全G(主幹 前川 清三郎) TEL:011-231-4111(内線22-853)

(別表)

表1 大気中浮遊じん及び降下物(6月採取分)の測定結果

実施機関	採取期間	採取場所	大気中浮遊じん [mBq/m ³] (検出下限)		降下物 [Bq/m ² ・月] (検出下限)	
			Cs-134 濃度	Cs-137 濃度	Cs-134 濃度	Cs-137 濃度
北海道	H23.5.31 ~6.30	茅沼 ステーション	0.030 (0.010)	0.022 (0.0087)	0.68 (0.053)	0.69 (0.048)
		気象 観測局			0.64 (0.058)	0.66 (0.054)
		発足 ステーション	0.029 (0.0097)	0.026 (0.0066)	1.1 (0.063)	1.1 (0.049)
		南幌似 ステーション	0.026 (0.011)	0.030 (0.0084)	0.78 (0.058)	0.77 (0.047)
		岩内 ステーション	0.022 (0.0094)	0.029 (0.0068)	0.71 (0.059)	0.74 (0.055)
		神恵内 ステーション	0.058 (0.0098)	0.052 (0.0074)	1.8 (0.062)	1.8 (0.050)
北海道電力 (株)	H23.5.31 ~6.30	発電所 ステーション	0.021 (0.010)	0.029 (0.010)	0.74 (0.084)	0.99 (0.088)
		堀株 ステーション	0.020 (0.0090)	0.029 (0.0089)		
		泊 ステーション	0.024 (0.0093)	0.032 (0.0098)		
		宮丘 ステーション	0.027 (0.0096)	0.029 (0.010)		
		高台 ステーション	0.015 (0.0091)	0.029 (0.0096)	0.66 (0.080)	0.92 (0.089)
3及び4月採取分の結果			不検出 ~0.23	不検出 ~0.28	不検出 ~19	不検出 ~18
前月(5月)採取分の結果			0.087 ~0.16	0.11 ~0.16	1.5 ~5.0	1.8 ~4.8
過去の測定値の範囲(H3.4~H23.3)			不検出	不検出 ~0.0085	不検出 ~0.076	不検出 ~0.61

表2 農畜産物(いちご)の測定結果

【Bq/kg生】

実施機関	採取年月日	採取場所	Cs-134濃度 (検出下限)	Cs-137濃度 (検出下限)
北海道	H23.6.21	南幌似地区	不検出 (0.012)	不検出 (0.011)
	H23.7.1	神恵内地区	0.10 (0.0092)	0.12 (0.0096)
過去の測定値の範囲(H3.4~H23.3)			不検出	不検出 ~0.019

表3 海産物(ほたて)の測定結果

【Bq/kg生】

実施機関	採取年月日	採取場所	Ag-110m濃度 (検出下限)
北海道	H23.6.13	岩内前面海域	0.33 (0.045)
過去の測定値の範囲(H3.4~H23.3)			不検出

*Cs-134 : セシウム 134
 *Cs-137 : セシウム 137
 *I-131 : ヨウ素 131
 *Ag-110m : 銀 110m

*Bq(ベクレル) : 放射線を出す能力を
表す単位
 *Sv(シーベルト) : 放射線の人体への
影響を表す単位

放射線とその影響

◆放射線の量

(単位：ミリシーベルト(mSv))

